

目黒区エコプラザ指定管理者運営評価結果について

目黒区エコプラザ指定管理者の令和4年度運営評価結果を報告する。

- 1 **施設名** 目黒区エコプラザ 目黒区目黒一丁目25番26号
- 2 **指定管理者** エコライフめぐろ推進協会 目黒区上目黒二丁目19番15号
代表者 相馬 熊郎

3 指定期間及び運営評価の対象期間

指 定 期 間 平成31年4月1日から令和6年3月31日まで（5年間）

評価対象期間 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

4 運営評価の方法

「目黒区エコプラザ指定管理者運営評価委員会設置要綱」に基づき設置した目黒区エコプラザ指定管理者運営評価委員会（構成員は別表のとおり）により、指定管理者から提出された事業報告書、利用者のアンケート結果、指定管理者の自己評価及び施設の視察について、あらかじめ定めた基準に基づき評価を行った。

5 事業報告書の概要

別紙「目黒区エコプラザ事業報告書（概要）」のとおり。

6 施設運営に係る区の歳入・歳出決算額の推移

（単位：円）

項目	26年度 (3期1年目)	27年度 (3期2年目)	28年度 (3期3年目)	29年度 (3期4年目)	30年度 (3期5年目)	備考
歳入	7,059,375	7,538,550	6,481,550	675,720	571,625	不用家具の再生事業販売 収入(平成28年度まで) 活動室使用料収入
歳出	35,983,284	31,095,221	34,986,994	26,865,216	26,865,216	運営管理経費
項目	元年度 (4期1年目)	2年度 (4期2年目)	3年度 (4期3年目)	4年度 (4期4年目)		備考
歳入	481,775	108,900	86,775	153,925		活動室使用料収入
歳出	26,995,560	27,120,000	27,000,000	27,000,000		運営管理経費

※導入前17年度は収入1,163,076円、支出49,050,439円（区の歳入・歳出額）

7 指定管理者の自己評価結果（点数は小数点第2位を四捨五入）

自己評価	84.0点：十分水準を超えていた
------	------------------

8 総括評価結果（点数は小数点第2位を四捨五入）

総合評価	85.2点：十分水準を超えていた
------	------------------

9 評価内訳

評価項目	内 容	配点	得点
1 事業の実施 に関する事項	(1) 事業計画に関する理念及び基本的な方針	20	16.25
	(2) 環境負荷の低減に関する講座・講習会に関すること。	10	8.5
	(3) 環境負荷の低減に関する情報収集・提供に関すること。 (情報室関係)	10	8.75
	(4) 施設の利用に供すること。 (活動室、展示コーナー及び打合せコーナー関係)	10	9
	(5) 不用物品の再生に関すること。	10	8.75
	(6) 不用物品の販売又は交換の場の提供に関すること。 (リサイクルショップ関係)	10	8.75
	(7) 環境負荷の低減に関する活動を行う団体の育成に関すること。	10	7.75
	(8) 関係機関との連携（学校や地域団体等）	20	17.25
2 管理運営に関する事項	(1) 経営状況及び事業実績	10	8.75
	(2) 管理運営の効率性	10	8.5
	(3) 管理運営に必要な人員体制	10	8
	(4) 安全管理・個人情報保護	10	8.5
	(5) 意欲・熱意	10	9
合 計		150	127.75
		85.2 (100点満点換算)	

- ・点数は小数点第2位を四捨五入
- ・評価項目1の(1)及び(8)については、内容の重要性に鑑み、配点を20点としている。
- ・令和3年度評価結果は、81.3点。

所 見	<p>1 サービス・事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人気の講習会については開催回数を増やして対応し、先着受付から抽選制に切り替えるなど参加者対応の改善がなされている。 ・エコプラザの情報周知能力を強化するため、PR ビデオの製作・公開やQR コードの導入など利便性向上策も継続しており、高く評価される。 ・コロナ禍における社会情勢の変化に対応した講演会・講座・イベントを積極的に開催しており、高く評価される。 ・児童館への出前講座や子ども服の交換会など、子育て世代の参加拡大を積極的に行った。 ・時季に応じた展示の工夫や各環境施設の資料を収集し、大人だけでなく子どもへの情報提供のあり方を工夫するなど、情報提供を適切に行うことができた。
-----	---

所 見

- ・ヘチマを利用したスポンジづくりなどの活動を継続しつつ、サロン・エコライフの実施など体験型活動の充実化が図られている。
- ・資源性廃棄物の分別精度を向上するための工夫を実施するなど、運営の効率化が着実かつ地道に行われている。不用品の回収についてもコロナ禍前のレベル相当に回復傾向を示しつつあり、今後も同様に継続していくことが望まれる。
- ・脱コロナの社会的気運とコロナ感染予防対策の適切な継続のバランスを考慮しながら、団体支援のあり方について検討・実施してほしい。
- ・大学の環境サークルとの連携など、着実に裾野が広がっている一方で、エコプラザの立地の問題もあり、西部地区への浸透が不十分である。コロナ禍での経験を活かし、オンラインと対面を連動させて連携・取組を図ってほしい。
- ・With コロナの状況下で、環境団体の支援や環境推進員養成のあり方について、従来の固定観念にとらわれることなく、創意工夫により新たな取組にチャレンジすることを期待したい。

2 利用者対応

- ・リサイクルショップの照明が明るくなり、展示もよく工夫されている。入口にある理念の掲示は改善の余地がある。

3 個人情報管理

- ・安全管理や個人情報管理は継続的かつ適切に実施されており、高く評価される。今後も問題なく実施することが期待される。

4 安全管理

- ・緊急事態にも対応できる体制づくりを行っており、安全確保や危機管理、個人情報保護等適切に対応がなされている。

5 効率的な運営

- ・事業計画に基づき、業務を安定的に行うことができた。
- ・コロナ禍における社会情勢の変化に対応して、事業運営においてオンラインを積極的に活用できる人材育成や事業基盤を構築し、運営の効率化を意識した工夫も見られるなど業務遂行に対する高い意欲・熱意が確認された。コロナ感染予防対策で得られたメリットは継続しつつ、With コロナや脱コロナに柔軟に対応しながら、事業運営を安定的に継続してほしい。
- ・寄付品の受付を予約制とした対策を継続し、コロナ感染予防対策で得られたメリットを確保しつつ販売金額や不用品情報の登録件数が増加するなど、着実な成果が積み重ねられている。
- ・次回は前年度予算／決算と比較できるような形での資料の提供をお願いしたい。
- ・管理運営は適切に実施されており、経費の積算内容についても特段の不明点は見出されない。効率的に運営されていると評価される。
- ・指定管理者として経験値に基づき各種ノウハウが蓄積されており、質の高い安定的な施設運営がなされている。
- ・各事業、管理運営に対して全員が真剣に取り組んでいる事がよく分かる。各事業の内容からして人員不足ではないか。

以上から総合的に判断して、指定管理者の管理の業務は、「**十分水準を超えていた**」と評価できる。

(別表) 目黒区エコプラザ指定管理者運営評価委員会構成 (敬称略)

職	職名	氏名
委員長	・東京大学大学院教授	梶田 真
副委員長	・東京工業大学准教授	高橋 史武
委員	・中小企業診断士	伊東 康夫
委員	・目黒区産業連合会会長	團村 守男

(参考 評価区分)

区分	十分水準を 超えていた。	水準を 超えていた。	水準に 達していた。	水準に 達していない。	かなり水準を 下回っていた。
評価結果 (100点満点換算)	80点以上	80点未満 70点以上	70点未満 60点以上	60点未満 50点以上	50点未満

以 上

目黒区エコプラザ事業報告書（概要）

1 施設の概要

施設名	目黒区エコプラザ
所在地	目黒区目黒1-25-26 田道ふれあい館地下1階
施設	情報室 / 打ち合わせコーナー / 活動室 / リサイクルショップ / 資源回収コーナー / 環境保全活動団体支援コーナー
事業内容 (条例上の各規定)	<ol style="list-style-type: none"> 1 環境への負荷の低減に関する講座及び講習会等を実施すること。 2 環境への負荷の低減に関する図書その他の資料を収集し、利用に供すること。 3 不用物品を再生すること。 4 不用物品の販売又は交換の場を提供すること。 5 環境への負荷の低減に関する活動を行う団体を育成すること。 6 エコプラザの施設を利用に供すること。 7 前各号に掲げるもののほか、区長が必要があると認める事業

2 指定管理者の概要

団体名	エコライフめぐろ推進協会
所在地	目黒区上目黒二丁目19番15号
代表者	理事長 相馬 熊郎
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで（5年間）
受任業務	上記事業内容と同じ。

3 管理業務の実施状況（事業・行事等の実施状況、施設の利用状況、施設管理の状況など）

(1) 事業の実施状況

主な講座等の実施状況は、表1のとおりである。

また、通年で活動室の貸出し、リサイクルショップ及び不用品情報の運営、何でもつくり隊の講座の開催等を行った。情報室ではテーマを決めて展示を行い、遊びながら学べるようなコーナーを設置した。

(2) 施設利用の状況

別表「目黒区エコプラザ利用実績表」のとおり。

表1. 令和4年度の主な講座等一覧表

5月	修理コツコツ講座
6月	サロン・エコライフ
7月	子育てママのエコ入門、出前講座（児童館）
8月	サロン・エコライフ
9月	出前講座（小学校）、見学受入れ（小学校）、環境推進員養成講座、子育てママのエコ入門
10月	環境推進員等ステップアップ講座、親子ふれあい自然体験、環境推進員養成講座、修理コツコツ講座
11月	環境推進員養成講座
12月	自然エネルギーを体感しよう（エコまつり・めぐろ2022）
1月	子育てママのエコ入門
2月	子育てママのエコ入門、修理コツコツ講座
3月	子育てママのエコ入門、サロン・エコライフ

4 管理経費収支状況（指定管理者の収支決算の状況）

（単位：円）

項目	4年度	備考
収入額（①）	27,000,000	区からの受託料
支出額（②）	31,401,086	人件費・管理運営費・事業費等
差引（①－②）	△4,401,086	リサイクルショップ売上げによる 充当分等

5 要望・苦情対応状況報告（要望・苦情についての内容・対応／4件）

内容	対応
リサイクルショップにCD交換コーナーがあるが、ジャンルや好みが多様なことから、販売するか破棄するべきではないか。	CD交換コーナーは、リサイクルショップボランティアの自主活動のため今後も継続はするが、ミーティングで情報共有する。
郵送でリサイクルショップへの寄付品を送ったが返送されてきた。善意で寄付したのに返送された理由を知りたい。	リサイクルショップへの寄付は、郵送での受け取りを行っていないこと、届いた荷物に発送者の電話番号等の記載がなかったことにより、すみやかに説明をすることができなかったこと等の理由を伝えた。

エコプラザだけでなく、廃油の回収拠点を区内に増やしてほしい。	窓口で要望を承り、区へ報告した。
衣類の回収案内のちらしには、回収できるもの・回収できないものの案内はあるが、回収した後どうなるのかがわからない。	令和5年度から配布するちらしには、回収後についても案内を加えることとした。

6 サービス向上のための努力事項

内 容	効 果
環境推進員養成講座の実施	企画運営委員会をオンラインで4回開催し、新型コロナウイルス感染症対策を十分に行い、全6回の環境推進員養成講座を開催した。
若年層の方に協力してもらおう可能性の検討について	環境活動への参画が期待される大学のサークル活動を視察し、令和5年度から「サロン・エコライフ」の講師依頼を行う予定。また、服飾系学校法人に聞き取りを実施した。

7 アンケート結果 (※)

内容	実施時期	回答数	質問項目数
ショップ利用者アンケート	R5. 3/4~10	100	9 (来店経験、来店のきっかけ等)
	来店経験 初めて 9% リピーター 90.0% 未回答 1.0% 陳列 良い 35.0% 普通 37.0% 不満 2.0% 未回答 26.0% 接客 良い 44.0% 普通 25.0% 不満 2.0% 未回答 29.0%		
修理コツコツ講座アンケート (包丁研ぎ講座)	R4. 5/28、R4. 10/29、 R5. 2/25	91 (参加人数 109)	8 (情報の入手方法、講座の内容、今後の希望等)
	わかりやすさ (5段階評価) 難しかった← 0.0% 0.0% 3.9% 23.3% 72.8% →分かりやすかった 楽しさ (5段階評価) つまらなかつた← 0.0% 0.0% 1.0% 18.0% 81.0% →楽しかった 役立ち度 (5段階評価) 役に立たない← 0.0% 0.0% 2.0% 9.0% 89.0% →役立ちそう		

※ その他、子育てママのエコ入門参加者アンケートを実施した。

8 5年度に向けた改善提案

日々変化していく環境問題について、子どもや保護者などが環境負荷低減に取り組む糸口を見出し、実践手法を学ぶ講座を実施する。小学校などでは、環境問題を知り・学ぶ機会となり、身近な環境問題に向き合っていくきっかけの場となるよう講座内容を工夫する。さらに、コロナ禍を踏まえ、インターネットを活用したオンラインによる講座配信も実施していく。

また、平成28年度から指定管理事業となった環境推進員養成講座については、講座修了生が「環境推進員」の認定に向けて「エコサポーター」として環境ボランティア活動へ参加をいただけるよう、引き続き協会事業を始め様々な活動機会の提供等を行っていく。

さらに、リサイクルショップの運営にあたっては、区民、エコプラザ来訪者等に対して、事業目的の周知と啓発に努める。また、時季に合わせた販売企画やポップ、ショップ内のレイアウト、寄付品の受入れ方法などの改善を進め、利用者が利用しやすく明るいショップとなるよう取り組んでいく。

以 上

項目		30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度実績
利用登録	新規登録者数	148名	133名	94名	104名	94名
リサイクル ショップ	受付点数	64,448点	73,131点	35,276点	27,794点	31,177点
	販売点数	54,354点	53,705点	32,315点	22,903点	26,157点
	販売金額	10,162,080円	10,192,569円	6,732,661円	5,641,201円	7,573,425円
図書	新規図書等 情報入力件数	43件	39件	39件	42件	40件
	図書等貸出件数	141件	262件	306件	230件	180件
不用品 情報	不用品情報 あげます登録件数	294件	324件	147件	193件	294件
	不用品情報 あっせん成立件数	34件	54件	42件	42件	33件
活動室	団体登録件数	11件	11件	12件	7件	4件
	延利用回数 (午前・午後・夜間)	延 379回	延 392回	延 155回	延 169回	延 263回

※ 利用登録数は、更新登録者も含む